

第4学年国語科 学習指導案

河内長野市立小山田小学校

1. 日時 令和6年5月10日(金)

2. 学年 第4学年2組(23名)

3. 単元名「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」

4. 単元目標

- (1) 考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。[知識及び技能](2)ア
- (2) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。[知識及び技能](1)カ
- (3) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。[思考力、判断力、表現力等]C(1)ア
- (4) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。[思考力、判断力、表現力等]C(1)オ
- (5) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、思いや考えを伝え合おうとする。
「学びに向かう力、人間性等」

5. 本単元で取り組む言語活動

筆者の考えと自分の経験を結び付けて、自分の考えを伝え合う。

6. 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
① 接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ	①「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。C1ア	粘り強く、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉え、学習の見通しをもって、自分の考えを伝え合おうとしている。
② 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア	②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えを持っている。C1オ	

7, 単元の指導と評価の計画

時	学習内容	学習評価(◎記録に残す評価○指導に生かす評価)			
		知技	思判表	主体	評価規準・評価方法等
1	<ul style="list-style-type: none"> ●単元のめあてを確認し、学習計画を立てる。 <p style="text-align: center;">構造と内容の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「思いやりのデザイン」を読み、段落や「初め・中・終わり」の構成、文章の話題を捉える。 ・題名読みをし、「筆者の考えを捉えて自分の考えを発表する」というゴールを示す。 ・「思いやりのデザイン」を読み、段落や「初め・中・終わり」の構成、文章の話題を捉える。 ・筆者の考えに赤線を引く。 	○		○	【知・技】〈行動観察・ノート〉 【主】〈行動観察・ノート〉
2	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の考えと、その説明のしかたについて考える。<u>精査・解釈</u> ・全文を通読する。 ・筆者の考えについて(双括型) ・例を対比して、考えと例の関係を捉えさせる。 ・筆者の考えに対する自分の考えをまとめ、発表する。 		◎		【思・判・表②】〈行動観察・ノート〉
3	<ul style="list-style-type: none"> ●「アップとルーズで伝える」を読み、学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。 ・教師が範読し、「思いやりのデザイン」と比べながら文章構成を考えさせる。 ・段落と写真の対応を考える。写真も使って対比して書かれていることに気付かせる。 ・筆者の意見が書かれているところを見つけ、その書かれ方を確かめる。 <p style="text-align: center;">構造と内容の把握</p>	◎			【知・技①】〈行動観察・ノート〉

4	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の考えが書かれた文章を見つけ、筆者の考えの伝え方を確かめる。 ●それぞれの段落どうしの関係を捉える。 ・各段落について文章全体から捉えられるように段落と段落や文と文をつなぐ言葉に注目させ、ワークシートにまとめさせる。 <p>構造と内容の把握</p>	○			【知・技①】〈行動観察・ノート〉
5	<ul style="list-style-type: none"> ●「アップ」と「ルーズ」をどのように対比しながら説明しているかを捉える。 <p>精査・解釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アップ」と「ルーズ」を対比して書かれている段落を詳しく読む。 ・対比して説明することの良さについて考える。 ・アップとルーズの例を挙げ、なぜそちらであるとよいのか理由を考える。 ・第7段落の内容を捉える。 		◎		【思・判・表①】〈行動観察・ノート〉
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ●筆者の考えと自分の経験を結び付けて、自分の考えをまとめる。 ・アップとルーズで伝えたいことを具体的に書く。 <p>考えの形成</p>		◎	○	【思・判・表②】〈行動観察・ノート〉
7	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の考えを発表し、交流する。 ・「アップとルーズで伝える」ということについて考えたことを発表する。 ・単元の学習をふり返る。 <p>共有</p>			◎	【主】〈行動観察・ノート〉
8	<ul style="list-style-type: none"> ●「考えと例」を読み、具体例を挙げながら考えを伝える <p>共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめをする。 	◎			【知・技②】〈行動観察・ノート〉

8, 本時の展開

(1) 本時の目標

筆者の考えと自分の経験を結び付けて、自分の考えをまとめることができる

(2) 本時の評価規準

筆者の考えと自分の経験を結び付けて、自分の考えをまとめている。【思考・判断・表現】②

(3) 本時の判断基準

【思考・判断・表現】

おおむね満足できる状況(B)	努力を要する状況(C)への支援
筆者の考えと自分の経験とを結び付けて、自分の考えをまとめている。	・筆者の意見は本文のどの部分なのかを確認させる。 ・例文と構成メモを照らし合わせる。
具体的な児童の姿	具体的な手立て
・筆者の考えで分かったことが書けている。 ・アップとルーズで伝えたいことが具体的に書けている。 ・構成をふまえて書けている。	・筆者の考えが、「初め」「終わり」に書かれていることを確認させる。 ・例文の接続詞をもとに、構成メモから文章にしていく。

9, 本時の学習過程(6/8時間)

	児童の学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 3分	①第8段落を読み、筆者の考えを確かめる。	・筆者の考えが、第3段落と第8段落に書かれていることを確認する。	
展開 3分	②本時のめあてを確認する。 ③好きなものを紹介する文章の構成を確認する。	・構成を伝える。 ①筆者の考えから分かったこと ②話題 ③例1(アップかルーズ) ④例1から伝えたいこと ⑤例2(アップかルーズ) ⑥例2から伝えたいこと ⑦終わり	
5分	④例文を掲示する。	・例文がアップとルーズを使って例を書けていることを確認する。	

3分	⑤構成メモをペアで確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「アップ」と「ルーズ」それぞれの具体例で何を伝えたいのか確認する。 ・机間巡視を行い、支援が必要な児童には好きなもののどこがいいのか具体的に聞き取る。 	
22分	⑥文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・途中で構成メモをもとに、全員の進み具合を確認する。 ・チェック用紙を使用し、自分の文章を見直しさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に文章を書こうと取り組んでいる。○【態】(発言・ノート) ・筆者の考えと自分の経験とを結び付けて、自分の考えをまとめている。◎【思】(発言・ノート)
4分	⑦ペアで交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの文章を見て構成を再確認させる。 	
まとめ5分	⑧学習をふり返り、次時の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りし、次時はみんなに発表し、学習したことをまとめることを知らせる。 	

考えの形成・書くための手立て(単元を通して)

- めあてを具体的に書き、ふり返りを書く。
- 自分の好きなものを伝えるための例を考えさせる。
- 評価を伝える。
- 構成メモで整理する。

ご高評価欄